



司法面接 被面接者への 心理的配慮と事実の解明

企画

伊東 裕司（慶應義塾大学）

仲 真紀子（立命館大学）

箱田 裕司（京都女子大学）

司会

伊東 裕司

事件・事故の捜査では、被害者、目撃者、被疑者から話を聞くことが重要です。しかし、正確な情報を多く得るには、記憶の変容や精神的な二次被害など、さまざまな心理学的問題を乗り越える必要があります。このシンポジウムでは、子ども、障がいをもつ人、高齢である人、日本語でのやりとりがむずかしい人など、配慮が必要な方から話を聞く際の問題や、研究の現状、課題を扱います。心理学者の取組みや実践を紹介し、捜査や裁判手続きのあり方についても考えます。

● 福岡会場・大阪会場

指定討論者 箱田 裕司・伊東 裕司

話題提供者	テーマ
山本 渉太（警察大学校）	警察における捜査面接訓練の現状
松尾 加代（慶應義塾大学）	目撃者遂行型調査：質問紙による目撃情報の収集法
羽瀨 由子（徳山大学）	ことばの壁をどう乗り越えるか：日本語が母語でない人に対する司法面接
仲 真紀子（立命館大学）	子どもから話をどう聴くか：司法面接の現状と展開
大橋 靖史（淑徳大学）	知的障がい者の供述特性に配慮した司法面接

2017 11.18 SAT

13:30~17:00 定員160名【入場無料】
(開場13:00)

■福岡会場

福岡大学 8号館 1階・811教室

〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19-1

▼七隈線福大前駅 西鉄バス福大前、福大正門前

●案内図 <http://www.fukuoka-u.ac.jp/help/map/>

2017 12.2 SAT

13:30~17:00 定員250名【入場無料】
(開場13:00)

■大阪会場

立命館大学 いばらきキャンパス A棟 AN211教室

〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150

▼JR茨木駅 徒歩5分 阪急南茨木駅 徒歩10分 モノレール宇野辺駅 徒歩7分

●案内図 <http://www.ritsume.ac.jp/accessmap/oic/>

※参加希望の方は必ず事前にお申込みください。お申込みいただいていない方は、ご入場いただけない場合がございます。

お申込みはE-mail、Fax、往復はがきで、参加希望日・シンポジウム名を明記の上、住所・氏名・年齢と、日本心理学会会員の方は会員番号、認定心理士の方は認定番号をお知らせください。（E-mailでの申込時は、件名に希望日・シンポジウム名をご記入ください。） ※各シンポジウムごとにお申込みを受け付けております。他のシンポジウムへの参加を希望される方は、別途お申込みください。

お知らせいただいた個人情報は、シンポジウム受付の目的にのみ利用します。

〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル

Tel.03-3814-3953 Fax.03-3814-3954 E-mail:jpa-event@psych.or.jp <http://www.psych.or.jp/>お申込み
お問合せ

公益社団法人日本心理学会